



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月7日

上場会社名 ドリームベッド株式会社 上場取引所 東
コード番号 7791 URL <https://www.dreambed.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）三宅 弘人
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）小尻 泰史 TEL 082 (271) 4201
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,620	4.5	347	19.6	332	19.3	221	19.3
2025年3月期中間期	5,379	17.7	290	288.6	278	59.7	185	66.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	54.09	—
2025年3月期中間期	45.54	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	11,173	4,696	42.0
2025年3月期	11,267	4,508	40.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,696百万円 2025年3月期 4,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00
2026年3月期	—	17.00			
2026年3月期（予想）			—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	3.4	680	14.3	640	9.8	440	6.0	107.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	4,152,820株	2025年3月期	4,152,820株
2026年3月期中間期	31,385株	2025年3月期	57,300株
2026年3月期中間期	4,100,367株	2025年3月期中間期	4,081,901株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会開催及び決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料については、説明会開催日に合わせて当社ウェブサイトに掲載いたします。(https://ir.dreambed.co.jp/ja/ir.html)。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向は継続したものの、円安の進行と原材料価格の高騰により、企業はコスト上昇圧力に直面いたしました。また、賃上げの動きが見られる一方で、実質賃金の伸び悩みと物価高が消費者の購買意欲を抑制する傾向も見られたほか、米国の関税政策の動向等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境下において、当社は2023年度から2025年度（2024年3月期～2026年3月期）までの3事業年度を対象とした中期経営計画「Dreambed2025 Change & Challenge Plan」に基づき、企業ミッションである「空環創造宣言」の完成に向け、積極的な取り組みを展開してまいりました。

当中間期間における各販売チャネル別の売上状況については次のとおりです。

(家具販売店向け)

マットレスについては、家具販売店の集客状況は苦戦が続く中、Serta（サータ）ブランドのスイートシリーズ、dream bed（ドリームベッド）ブランドの新商品（ピュアドリーム）を重点商品として販売を強化、また、ラグジュアリーホテルとのコラボレーション企画を実施しました。

ligne roset（リーン・ロゼ）については、ソファを中心に販売は堅調に推移いたしました。

その結果、前中間会計期間と比して3百万円増加し4,059百万円となりました。

(商業施設向け)

インバウンドの増加により、ホテル業界の宿泊稼働率は引き続き高い水準にあり、ホテル新設やマットレスの入替需要から、受注は高水準を維持いたしました。

その結果、前中間会計期間と比して120百万円増加し656百万円となりました。

(ショップ/ショールーム)

ショップにおいては、ligne roset（リーン・ロゼ）のデザイナー企画などの施策により、ロゼトーゴの販売は引き続き堅調であり、また、新たなモデルで投入した高価格帯であるロゼカシマの販売が好調に推移いたしました。

ショールームにおいても、法人誘致などを積極的に展開し、法人向け販売に貢献しました。

その結果、販売実績は前中間会計期間と比して88百万円増加し816百万円となりました。

(その他)

当第2四半期より新たにインドネシア向けOEM供給による海外輸出を開始したこと等により、前中間会計期間と比して28百万円増加し87百万円となりました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高5,620百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益347百万円（同19.6%増）、経常利益332百万円（同19.3%増）、中間純利益221百万円（同19.3%増）となりました。

(注) 従来ハウスメーカー向けについては、個別に記載しておりましたが、売上高が他の販売経路に比して少額であるため、2026年3月期より家具販売店向けに含めて記載しております。

なお、当社はホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

その他成長戦略への取り組みとして、マルチブランド戦略においては、約40年ぶりの新マットレスブランドである「KING KOIL(キングコイル)」の国内販売を2025年10月より開始いたしました。これに合わせて東京ショールーム1階のメインゾーンにKING KOIL(キングコイル)のスペースを、さらに増床した地下1階にはホテルやligne roset（リーン・ロゼ）法人向けのスペースをそれぞれ新設する予定です。

また新たな販売チャネルとして開始した海外輸出についても周辺国へ更なる拡大を目指します。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ94百万円減少し11,173百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ256百万円減少し4,200百万円となりました。主な増減要因は、商品及び製品の増加92百万円、売掛金の減少166百万円、受取手形の減少113百万円等であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ162百万円増加し6,973百万円となりました。これは、無形固定資産におけるソフトウエアの増加255百万円等がある一方、減価償却の進行に伴い有形固定資産が減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ282百万円減少し6,477百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ485百万円減少し4,216百万円となりました。主な増減要因は、前受金の増加56百万円、短期借入金の増加24百万円、未払金の減少392百万円、その他における未払消費税等の減少162百万円等であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ202百万円増加し2,260百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加200百万円、繰延税金負債の増加7百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ188百万円増加し4,696百万円となりました。主な増減要因は、中間純利益の計上による増加221百万円、剰余金の配当による減少69百万円等であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末に比べ2.0ポイント増加し42.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ64百万円減少し、682百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、262百万円(前年同期は31百万円の獲得)となりました。これは、主に税引前中間純利益330百万円、売上債権の減少額285百万円及び減価償却費183百万円等があった一方で、棚卸資産の増加額145百万円及びその他における未払消費税等の減少額162百万円等による資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、480百万円(前年同期は133百万円の使用)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出260百万円及び無形固定資産の取得による支出215百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、153百万円(前年同期は51百万円の獲得)となりました。これは、主に長期借入による収入300百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出100百万円及び配当金の支払額69百万円等による資金の減少があったことによるものです。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期業績予想につきましては、2025年5月9日「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,126	732,667
受取手形	249,689	136,356
電子記録債権	653,426	648,258
売掛金	1,422,368	1,255,466
商品及び製品	778,399	871,198
仕掛品	21,833	53,793
原材料及び貯蔵品	372,670	392,990
前渡金	81,652	34,662
前払費用	85,060	78,640
その他	13,242	12,664
貸倒引当金	△18,500	△16,200
流動資産合計	4,456,970	4,200,499
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,166,991	3,094,866
構築物（純額）	197,877	189,241
機械及び装置（純額）	526,878	522,050
車両運搬具（純額）	7,400	13,298
工具、器具及び備品（純額）	84,480	152,776
土地	2,113,025	2,113,025
リース資産（純額）	8,915	8,052
建設仮勘定	104,458	28,922
有形固定資産合計	6,210,026	6,122,233
無形固定資産		
ソフトウェア	31,153	286,238
ソフトウェア仮勘定	56,940	—
その他	237	237
無形固定資産合計	88,330	286,475
投資その他の資産		
投資有価証券	172,628	195,655
出資金	1,200	1,200
前払年金費用	99,202	118,367
その他	239,514	249,175
投資その他の資産合計	512,545	564,399
固定資産合計	6,810,902	6,973,108
資産合計	11,267,872	11,173,607

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	188,660	104,337
電子記録債務	232,509	313,217
買掛金	339,140	330,392
短期借入金	2,096,000	2,120,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	810,186	417,831
未払費用	60,557	57,835
未払法人税等	138,421	131,303
前受金	148,113	204,878
預り金	33,290	41,460
賞与引当金	191,446	191,162
製品保証引当金	34,500	35,900
リース債務	1,725	1,725
その他	227,108	66,169
流動負債合計	4,701,660	4,216,214
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,800,000
リース債務	7,190	6,327
繰延税金負債	432,476	440,344
その他	18,410	14,135
固定負債合計	2,058,076	2,260,806
負債合計	6,759,736	6,477,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,715	785,715
資本剰余金	718,195	719,440
利益剰余金	3,000,865	3,153,026
自己株式	△42,955	△23,246
株主資本合計	4,461,821	4,634,935
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,315	61,023
繰延ヘッジ損益	—	628
評価・換算差額等合計	46,315	61,651
純資産合計	4,508,136	4,696,587
負債純資産合計	11,267,872	11,173,607

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,379,806	5,620,094
売上原価	2,520,719	2,661,968
売上総利益	2,859,087	2,958,125
販売費及び一般管理費	2,568,328	2,610,349
営業利益	290,758	347,776
営業外収益		
受取利息	41	208
受取配当金	1,902	2,186
為替差益	479	—
雑収入	2,499	1,548
その他	1,487	2,081
営業外収益合計	6,411	6,025
営業外費用		
支払利息	17,451	20,017
為替差損	—	185
その他	743	792
営業外費用合計	18,195	20,994
経常利益	278,974	332,807
特別損失		
固定資産売却損	663	—
固定資産除却損	—	1,936
会員権解約損	1,000	—
特別損失合計	1,663	1,936
税引前中間純利益	277,311	330,870
法人税等	91,437	109,085
中間純利益	185,874	221,784

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	277,311	330,870
減価償却費	168,628	183,269
売上債権の増減額 (△は増加)	263,798	285,404
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△191,750	△145,079
仕入債務の増減額 (△は減少)	△277,598	15,592
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	△2,300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,670	△283
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,400	1,400
長期未払金の増減額 (△は減少)	△51,146	△4,275
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△13,341	△19,165
受取利息及び受取配当金	△1,944	△2,394
支払利息	17,451	20,017
固定資産売却損益 (△は益)	663	—
固定資産除却損	—	1,936
その他	△111,289	△246,616
小計	85,852	418,375
利息及び配当金の受取額	1,944	2,394
利息の支払額	△17,451	△20,017
法人税等の支払額	△38,985	△137,891
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,360	262,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△652	△726
有形固定資産の取得による支出	△130,507	△260,288
有形固定資産の売却による収入	1,000	—
無形固定資産の取得による支出	△3,521	△215,470
敷金及び保証金の差入による支出	—	△4,349
その他	△0	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,682	△480,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	243,000	24,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△24,282	—
配当金の支払額	△65,686	△69,623
その他	△1,714	△862
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,316	153,513
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△51,004	△64,469
現金及び現金同等物の期首残高	656,329	747,057
現金及び現金同等物の中間期末残高	605,324	682,587

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月9日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式13,500株、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして自己株式13,090株を処分しました。

以上の結果、当中間会計期間において自己株式が19,708千円減少し、当中間会計期間末において自己株式が23,246千円となっております。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。